

盤の管理・盤図の出力

目次

1. 盤の管理	2
[盤の管理]ダイアログの画面	
配電盤の設定	
分電盤を分ける	
盤に複数の幹線を接続する	
2. 盤図の出力	15
[盤の管理]から出力	
[データリンク]から出力	
(参考)表の更新	

更新日：2022/7/22 Rebro2022対応

1. 盤の管理

[盤の管理]コマンドでは、盤と盤を幹線で接続し、盤の親子関係をツリー構造で作成します。分電盤につながる照明器具などの情報を回路番号を基に入力し、盤ごとの管理をすることができます。

また、[盤の管理]で作成した内容を[盤の管理]-[データリンクの設定を出力]または、[データリンク]コマンドを使用して、盤の種類ごとに盤図として図面に貼り付けすることができます。貼り付けた表は、[盤の管理]と連動します。

[盤の管理]ダイアログの画面

盤の分類(p.3参照)

全体の合計値

「(数字)」は、盤または、幹線番号ごとの合計値

幹線番号

盤名称
 [アイコン]: 図面に配置した盤
 [アイコン]: [盤の管理]で追加した盤

No.	幹線No	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考
1	K1-1	1φ3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.55)	(2.55)	
2						CVT14	3L-1	2.55	2.55	
3										
4										
5	K1-2	1φ3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.816)	(2.816)	
6						CVT14	3P-1	1.545	1.545	
7						CVT14	3P-2	(1.271)	(1.271)	
8						CVT14	3P-2	1.271	1.271	
9	K2-1	1φ3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(5.589)	(5.589)	
10						CVT14	4L-1	2.584	2.584	
11						CVT22		(3.005)	(3.005)	
12						CVT14	4L-2	3.005	3.005	
13										

青字は、図面上から自動計上された値です。
 負荷名称は、器具の[部材情報]-[名称]から、負荷容量の値は、電気器具の[電気器具]-[負荷容量]から自動計上します。(p.5参照)

Memo

[盤の管理]の[盤の一覧]タブで盤を選択し、コンテキストメニューの[選択した盤を図面上で要素選択する]をクリックすると、選択した盤を図面上で選択します。

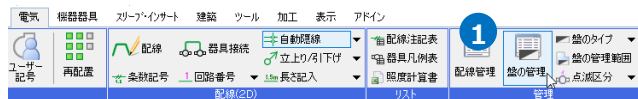
配電盤の設定

配電盤に分電盤を幹線で接続します。

サンプル図面「サンプル事務所(盤の管理).reb」を開きます。ここでは、[盤の管理]を使用し、図面に配置していない仮想の配電盤を設定します。サンプル図面に配置された器具は、回路番号が設定してあります。

仮想の配電盤を追加

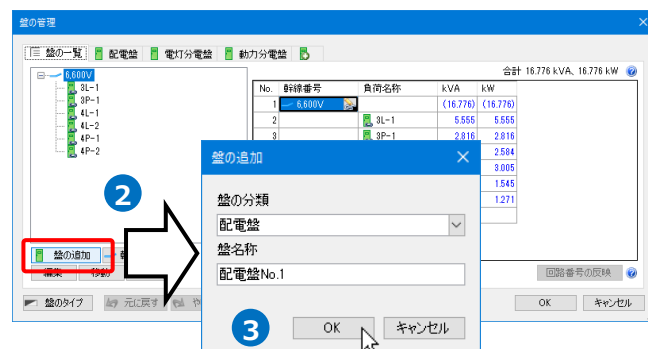
- 1 [電気]タブ-[盤の管理]をクリックします。



- 2 [盤の追加]をクリックし、盤の分類と盤名称を設定します。

[盤の分類] : 「配電盤」

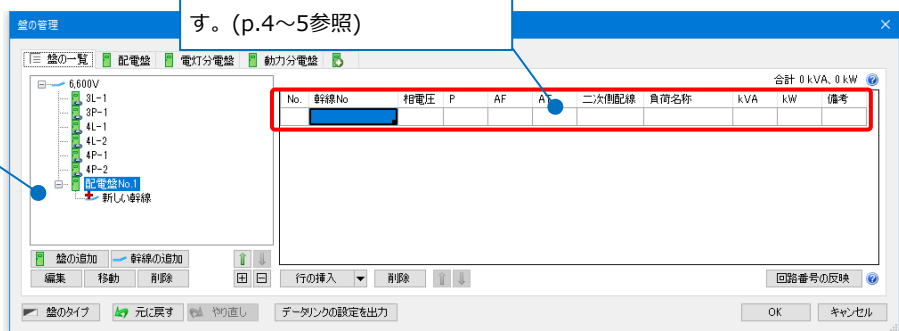
[盤名称] : 「配電盤No.1」



- 3 [OK]をクリックします。

[盤のタイプ]で盤の分類ごとに設定された項目が表示されます。(p.4~5参照)

盤名称が追加されます。

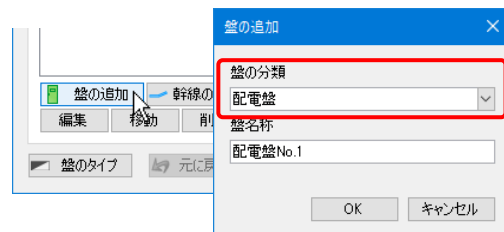
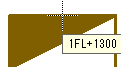
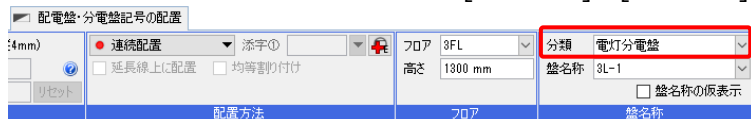


● 補足説明

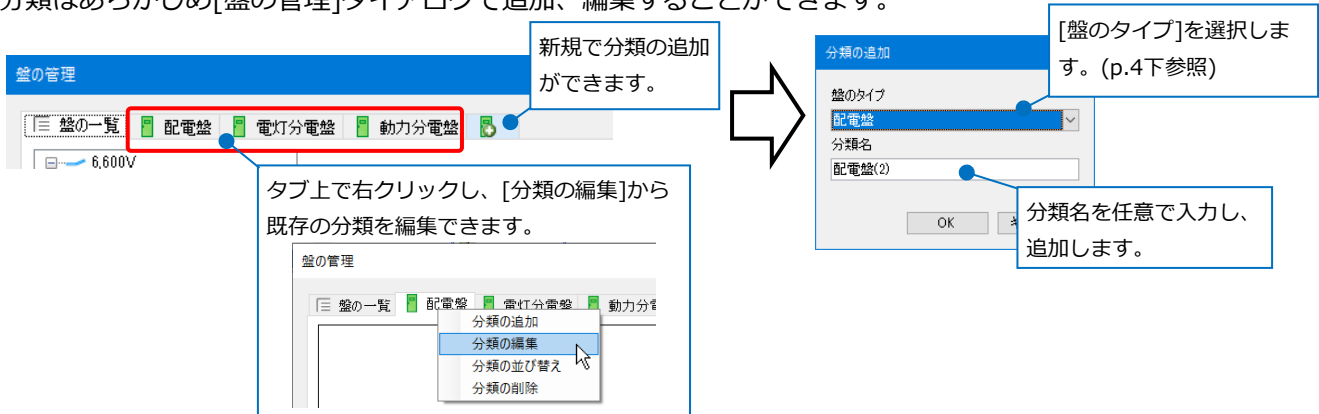
盤の分類

盤には「盤の分類」を設定します。

図面上に盤を配置する時、もしくは、[盤の管理]の[盤の追加]で盤を追加する時に設定します。



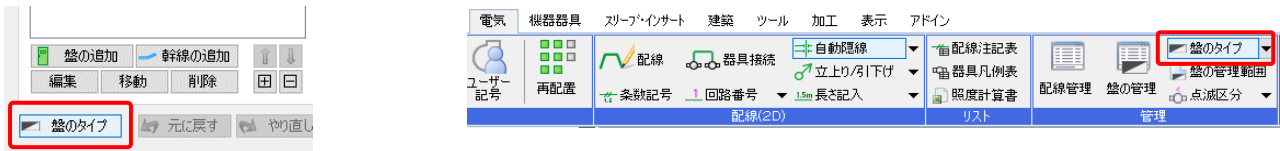
分類はあらかじめ[盤の管理]ダイアログで追加、編集することができます。



盤のタイプ

「盤の分類」ごとに「盤のタイプ」を設定します。

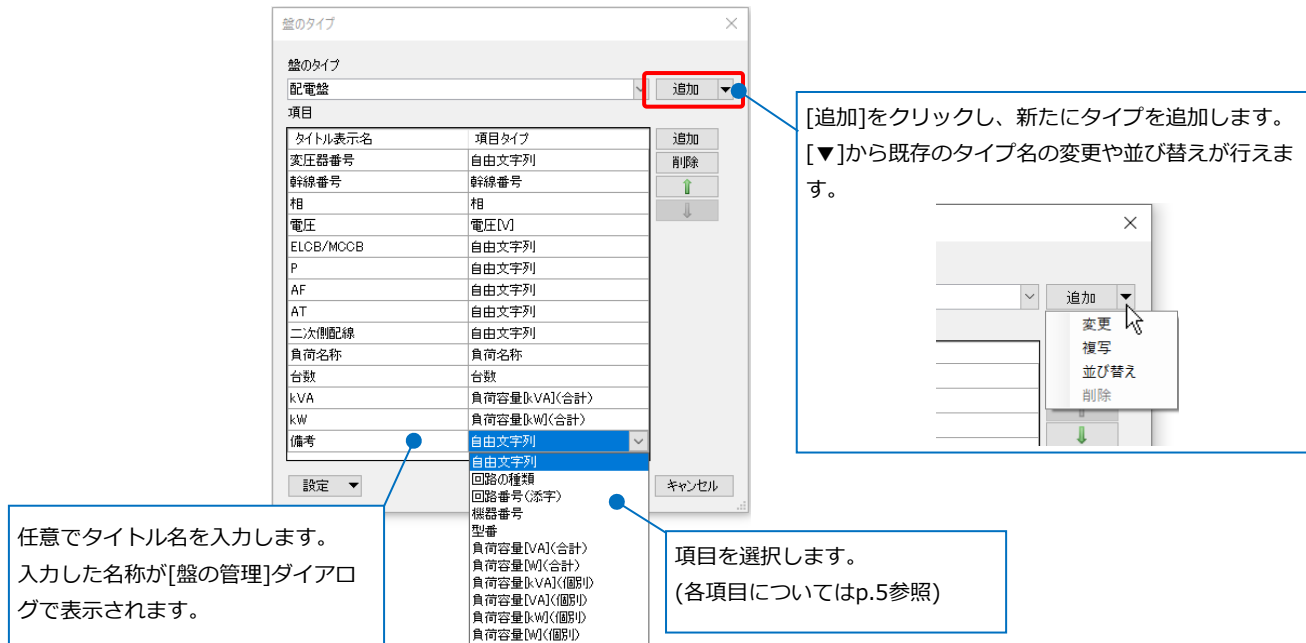
タイプは、[盤の管理]ダイアログの[盤のタイプ]もしくは、[電気]タブ-[盤のタイプ]で追加、編集することができます。



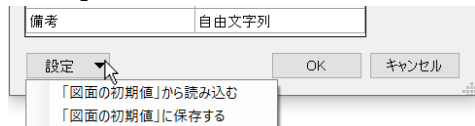
[盤のタイプ]ダイアログでタイプごとに盤の情報として必要な項目を設定します。設定した項目が、[盤の管理]ダイアログで盤ごとに表示される項目です。(p.3 ③ 図参照)

※各盤のタイプには必ず「幹線番号」または、「回路番号」のどちらかの項目タイプを設定します。


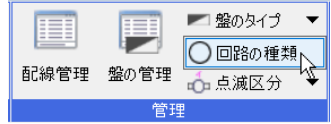
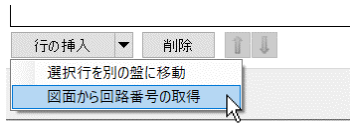
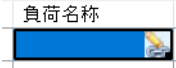
「幹線番号」を選択した場合は、「負荷名称」も選択する必要があります。



[設定]-[「図面の初期値」に保存する]で設定した盤のタイプを初期値へ保存したり、[「図面の初期値」から読み込む]で[ホーム]タブ-[設定]-[図面の初期値]タブ-[電気]-[盤のタイプ]から設定を読み込み反映することができます。

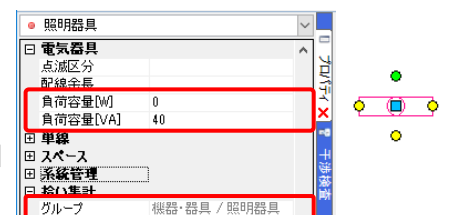


項目タイプ

項目タイプ	入力する値
自由文字列	任意の文字列を入力
幹線番号	手入力または、[盤の管理]で設定した幹線番号から選択 
回路の種類	[電気]タブ-[盤のタイプ]横の[▼]-[回路の種類]で設定した記号から選択 ※設定済みの回路の種類を変更すると、図面上の器具と配線の情報も変更することができます。 
回路番号	手入力または、[盤の管理]-[行の挿入]横の[▼]-[図面から回路番号の取得]で図面上から回路番号を自動計上 ※設定済みの回路番号を変更すると、図面上の器具と配線の情報も変更することができます。 
回路番号(添字)	手入力または、プルダウンリストから選択 ※設定済みの添字を変更すると、図面上の器具と配線の情報も変更することができます。
機器番号	図面上から自動計上(項目タイプに「回路番号」があり、未入力の場合) ※手入力で[盤の管理]ダイアログ上の表示用の機器番号に上書きできます。
負荷名称	図面上から自動計上(項目タイプに「回路番号」があり、未入力の場合) または、[盤の管理]から盤の選択(項目タイプに「幹線番号」があり、未入力の場合) ※手入力で[盤の管理]ダイアログ上の表示用の名称に上書きできます。 
型番	図面上から自動計上(項目タイプに「回路番号」があり、未入力の場合) ※手入力で[盤の管理]ダイアログ上の表示用の名称に上書きできます。
電圧[V]	手入力(数値のみ)または、プルダウンリスト(「100」か「200」)から選択
相	プルダウンリスト(「単相」か「三相」)から選択
負荷容量(合計)	図面上から自動計上(盤名称、回路の種類、回路番号、添字が一致する機器がある時) ※手入力で[盤の管理]ダイアログ上の表示用の負荷容量に上書きできます。
負荷容量(個別)	図面上から自動計上(盤名称、回路の種類、回路番号、添字が一致する機器がある時) ※手入力した場合、図面上に配置した器具も変更します。
台数	図面上から自動計上(盤名称、回路の種類、回路番号、添字が一致する機器がある時)

[項目タイプ]の「負荷容量(個別)」は、電気器具のプロパティ[電気器具]-[負荷容量]の値が自動計上され、その値を基に項目タイプ「負荷容量(合計)」が計上されます。

電気器具のプロパティ[電気器具]-[負荷容量]の項目は、システム/ユーザー記号(配管/ダクト付属品は除く)、またはシステム/ユーザー部材で拾い集計グループが「照明器具」「コンセント」「スイッチ」「電気器具」のいずれかの場合に付加される情報です。



回路番号の反映

項目タイプ「回路番号」、「回路の種類」、「回路番号(添字)」もしくは、「負荷容量(個別)」の値を変更すると、図面上に配置した該当の配線や器具にも変更した値を反映することができます。

[盤の管理]ダイアログを[OK]で閉じることで図面と[盤の管理]ダイアログ上の情報が更新されます。[回路番号の反映]をクリックすると、ダイアログを閉じることなく、[盤の管理]ダイアログ上の情報を更新することができます。

同じ名称の盤が複数あり、同じ回路番号の設定をしている時に、変更した盤以外の同じ名称の盤にも変更した値が反映されます。

①負荷容量を「40→50」に変更

②片方で数値を変更しても、もう片方の盤では変更した数値が反映されていません。

③クリック

No.	回路番号	台数	kVA	VA(個別)	kW	W(個別)	備考
1	101	4	0.1	40	40	0	
2	102	2	0.08	40	40	0	
3	103						

④値が更新されます。

No.	回路番号	台数	kVA	VA(個別)	kW	W(個別)	備考
1	101	4	0.1	50	40	0	
2	102	2	0.08	40	40	0	
3	103						

①回路番号を変更

No.	回路番号	台数	kVA	VA(個別)	kW	W(個別)	備考
1	104	4	0.2	50	40	0	
2	102	2	0.08	40	40	0	
3	103						

②[はい]をクリックすると、図面上の該当の器具の回路番号を変更します。

③同じ盤名称、回路番号ですが、情報が更新されていません。

④クリック

No.	回路番号	台数	kVA	VA(個別)	kW	W(個別)	備考
1	104	4	0.2	50	40	0	
2	105						
3	106						

⑤情報が更新されます。

No.	回路番号	台数	kVA	VA(個別)	kW	W(個別)	備考
1	104	4	0.16	40	40	0	
2	105						
3	106						

配電盤に幹線を追加

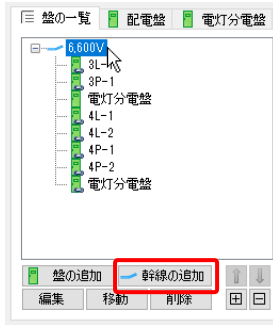
- 1 [盤の一覧]タブの[新しい幹線]をクリックします。
- 2 [幹線の追加]ダイアログで幹線番号「K1-1」を入力し、[OK]をクリックします。
- 3 同様に「K1-2」、「K2-1」、「K2-2」を追加します。



Memo

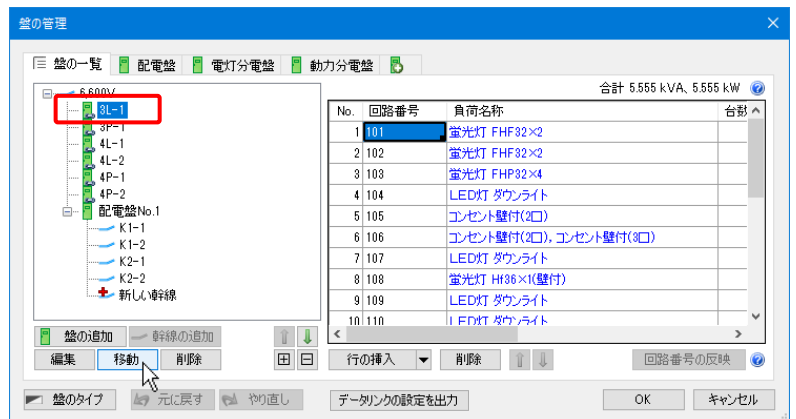
[幹線の追加]からも幹線番号を追加することができます。選択した幹線番号と同じ階層、もしくは、盤名称の下に新たに幹線番号を追加します。

[盤のタイプ]で「幹線番号」の項目タイプを設定している盤に対して幹線番号を追加できます。([盤のタイプ]についてはp.4参照)

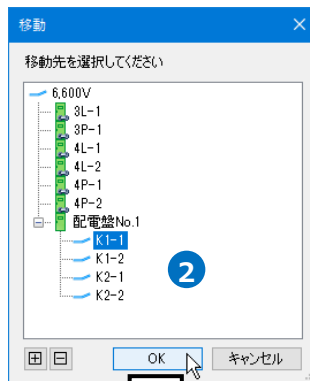


幹線に図面上の分電盤を接続

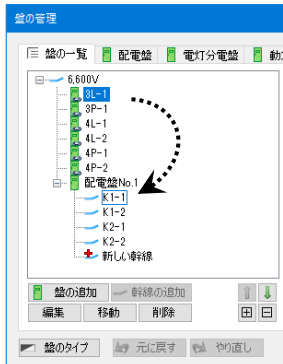
- 1 [盤の一覧]タブでツリーから分電盤名称「3L-1」を選択し、[移動]をクリックします。



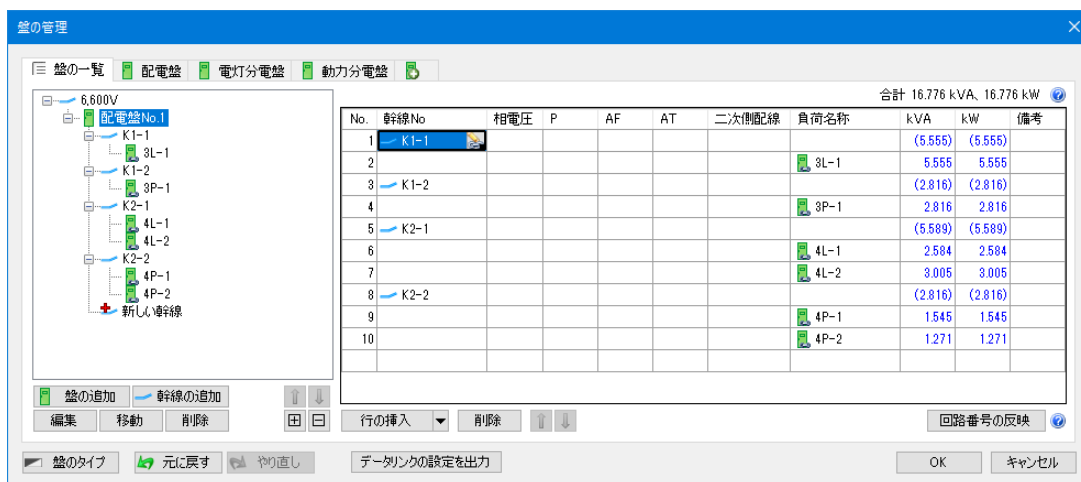
- 2 [移動]ダイアログで幹線番号「K1-1」を選択し、[OK]をクリックします。
→選択した幹線番号の下に分電盤が移動します。



Memo
盤名称を選択し、ドラッグで幹線番号を指定して移動することもできます。



- 3 同様に各分電盤を移動します。
「3P-1」: 幹線番号「K1-2」
「4L-1」、「4L-2」: 幹線番号「K2-1」
「4P-1」、「4P-2」: 幹線番号「K2-2」



幹線に材料を設定

- 1 [盤の一覧]タブで「配電盤No.1」をクリックします。

→幹線番号ごとの負荷容量の合計を確認できます。

No.	幹線No	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考
1	K1-1							(5.555)	(5.555)	
2							3L-1	5.555	5.555	
3	K1-2							(2.816)	(2.816)	
4							3P-1	2.816	2.816	
5	K2-1							(5.589)	(5.589)	
6							4L-1	2.584	2.584	
7							4L-2	3.005	3.005	
8	K2-2							(2.816)	(2.816)	
9							4P-1	1.545	1.545	
10							4P-2	1.271	1.271	

- 2 [二次側配線]欄に材料を入力します。
該当のセルをクリックし、手入力します。

No.	幹線No	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考
1	K1-1					CVT22 CVT14		(5.555)	(5.555)	
2							3L-1	5.555	5.555	
3	K1-2							(2.816)	(2.816)	
4							3P-1	2.816	2.816	
5	K2-1							(5.589)	(5.589)	
6							4L-1	2.584	2.584	
7							4L-2	3.005	3.005	
8	K2-2							(2.816)	(2.816)	
9							4P-1	1.545	1.545	
10							4P-2	1.271	1.271	

- 3 行を追加する場合は、[行の挿入]をクリックし、追加したい行数を指定します。
→選択している行の上に指定した行数分の空行が追加されます。

Memo

行の上で右クリックし、コンテキストメニューから[行の挿入]もできます。

No.	幹線No	相電圧	P	AF	AT	二次側配線
1	K1-1					CVT22
2						CVT14
3	K1-2					
4						
5	K2-1					
6						
7						
8	K2-2					
9						
10						

Context menu options: コピー (Ctrl+C), 貼り付け (Ctrl+V), 行の挿入, 削除 (Del), 選択行を別の盤に移動, 選択した盤を画面上で要素選択する

No.	幹線No	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考
1	K1-1					CVT22		(5.555)	(5.555)	
2						CVT14	3L-1	5.555	5.555	
3	K1-2							(2.816)	(2.816)	
4							3P-1	2.816	2.816	
5	K2-1							(5.589)	(5.589)	
6							4L-1	2.584	2.584	
7							4L-2	3.005	3.005	
8	K2-2							(2.816)	(2.816)	
9							4P-1	1.545	1.545	
10							4P-2	1.271	1.271	

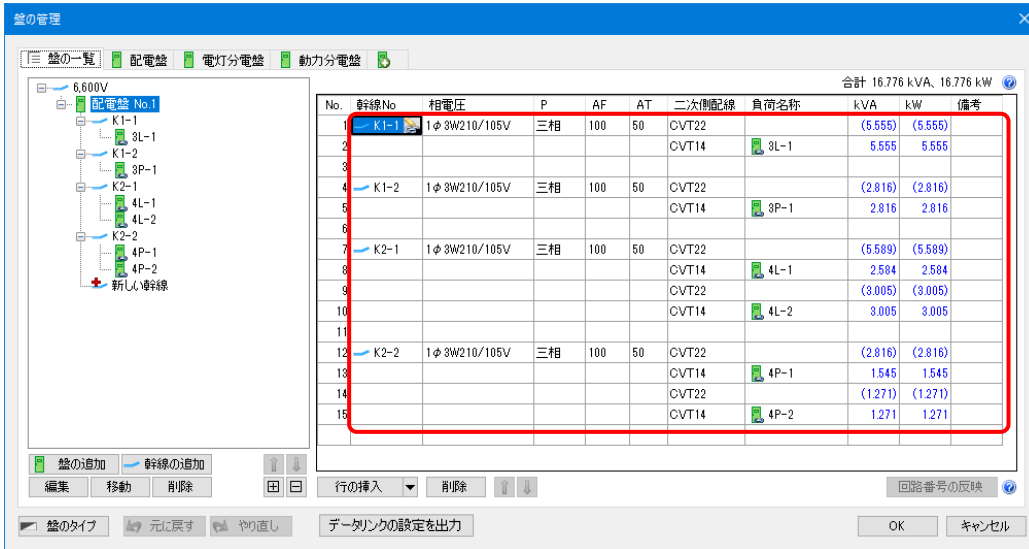
行の挿入

追加する行数 11

OK キャンセル

No.	幹線No	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考
1	K1-1					CVT22		(5.555)	(5.555)	
2						CVT14	3L-1	5.555	5.555	
3										
4	K1-2							(2.816)	(2.816)	
5							3P-1	2.816	2.816	
6	K2-1							(5.589)	(5.589)	
7							4L-1	2.584	2.584	
8							4L-2	3.005	3.005	
9	K2-2							(2.816)	(2.816)	
10							4P-1	1.545	1.545	
11							4P-2	1.271	1.271	

帳票としての空行も追加することが可能です。



分電盤を分ける

動力分電盤に設定している一部の回路を別の盤に移動します。ここでは、図面上にない仮想の分電盤を作成し、移動します。

仮想の動力分電盤を追加

- 1 [盤の一覧]タブで幹線番号「K1-2」をクリックします。

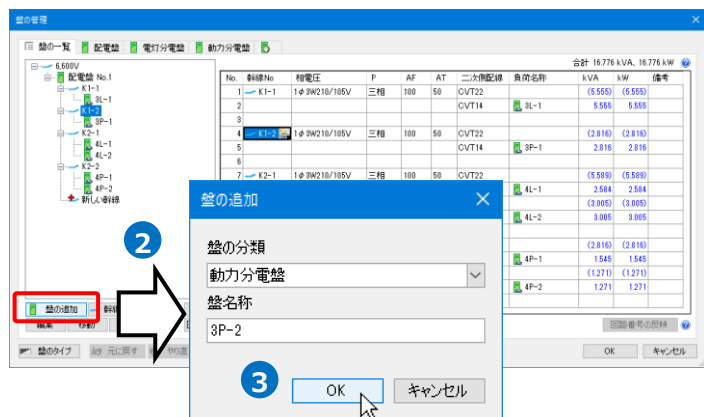


- 2 [盤の追加]をクリックし、[盤の追加]ダイアログより分類と名称を入力します。

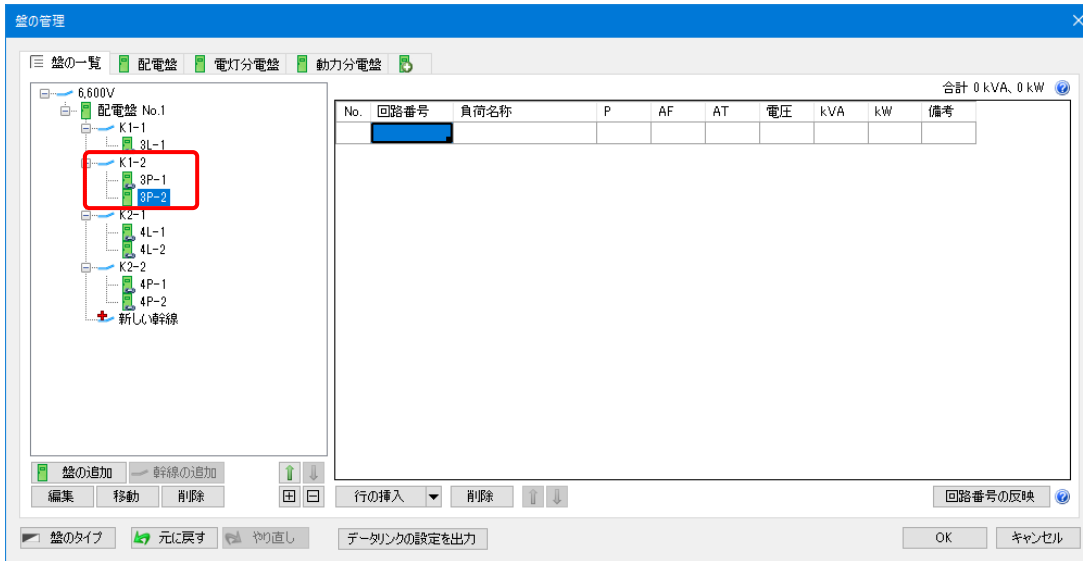
[盤の分類] : 「動力分電盤」

[盤名称] : 「3P-2」

- 3 [OK]をクリックします。

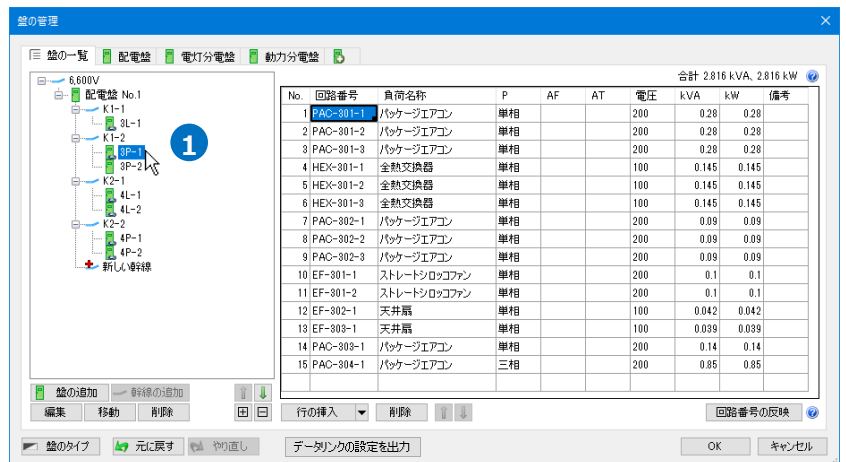


幹線番号「K1-2」の下に分電盤が追加されます。

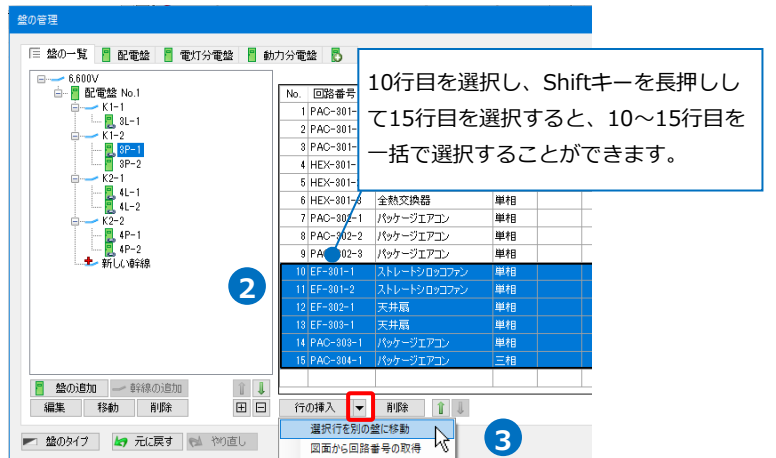


回路の移動

- 1 [盤の一覧]タブで盤名称「3P-1」をクリックします。



- 2 回路番号「EF-301-1」～「PAC-304-1」(10～15行目)を複数選択します



- 3 [行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]をクリックします。

- 4 [盤の選択]ダイアログで移動先の盤を指定します。
- 「3P-2」を選択し、[OK]をクリックします。
- 選択した回路が移動します。

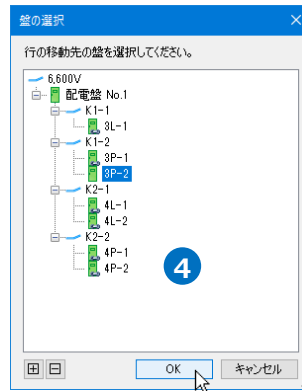
Memo

行の上で右クリックし、コンテキストメニューから[選択行を別の盤に移動]もできます。

8	PAC-302-2	パッケージエアコン	単相		
9	PAC-302-3	パッケージエアコン	単相		
10	EF-301-1	ストレーショコファン	単相		
11	EF-301-2	ストレーショコファン	単相		
12	EF-302-1	天井扇	単相		
13	EF-303-1	天井扇	単相		
14	PAC-303-1	パッケージエアコン	単相		
15	PAC-304-1	パッケージエアコン	三相		

右クリックメニュー:

- コピー Ctrl+C
- 貼り付け Ctrl+V
- 行の挿入
- 削除 Del
- 選択行を別の盤に移動**
- 選択した盤を画面上で要素選択する



盤に複数の幹線を接続する

電灯分電盤を2つの幹線に分けて接続します。ここでは、「3L-1」の分電盤に「K1-3」の幹線を追加し、回路を分けます。

幹線を追加

- 1 [電灯分電盤]タブをクリックし、盤名称「3L-1」を選択します。
- 2 [幹線]-[追加]をクリックします。

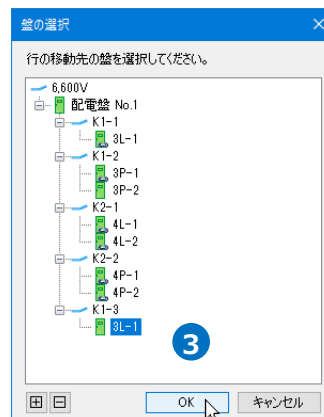
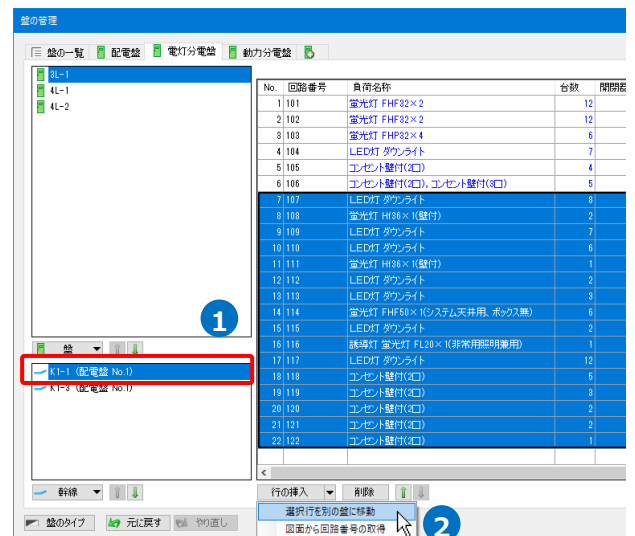


- ③ [幹線の追加]ダイアログで幹線番号を入力し、
[OK]をクリックします。
→「3L-1」の盤に幹線番号が追加されます。

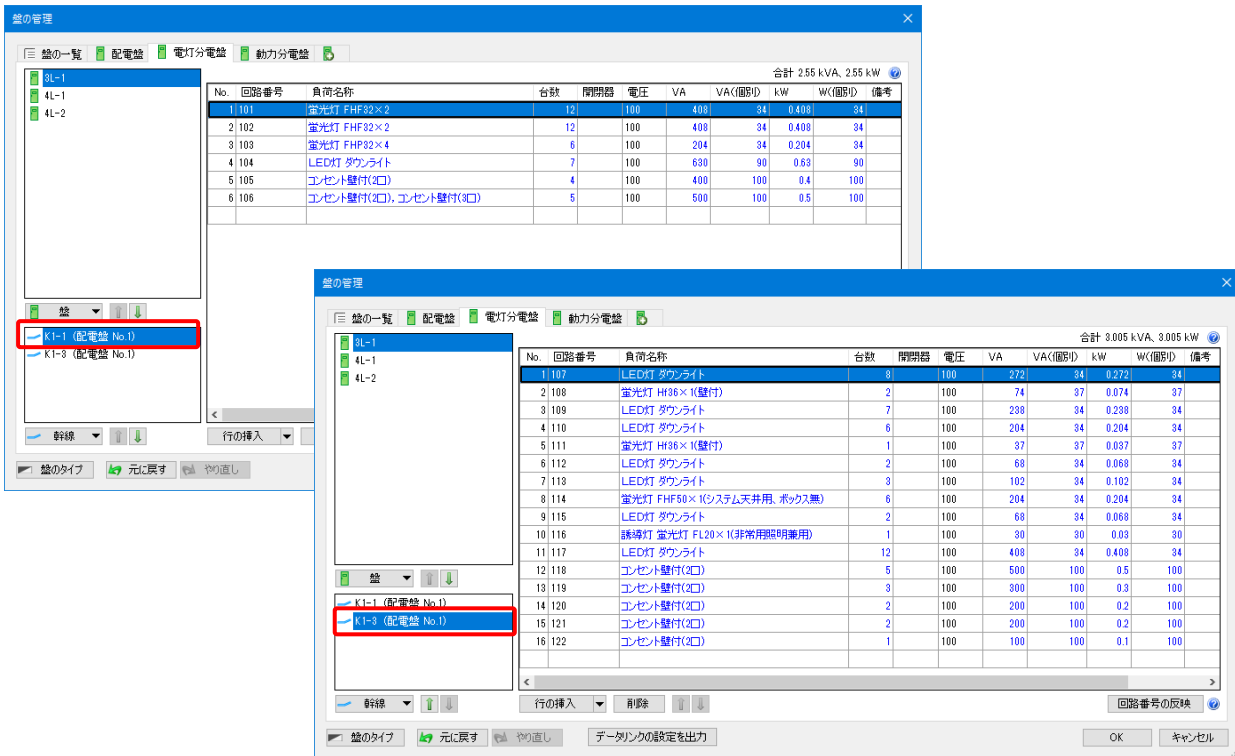


回路の移動

- ① 幹線番号「K1-1(配電盤No.1)」をクリックし、
回路番号「107」以降の番号(7~22行目)を選択
します。
- ② [行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]
をクリックします。
- ③ [盤の選択]ダイアログで移動先の盤を指定しま
す。
幹線番号「K1-3」に接続している「3L-1」を
選択し、[OK]をクリックします。

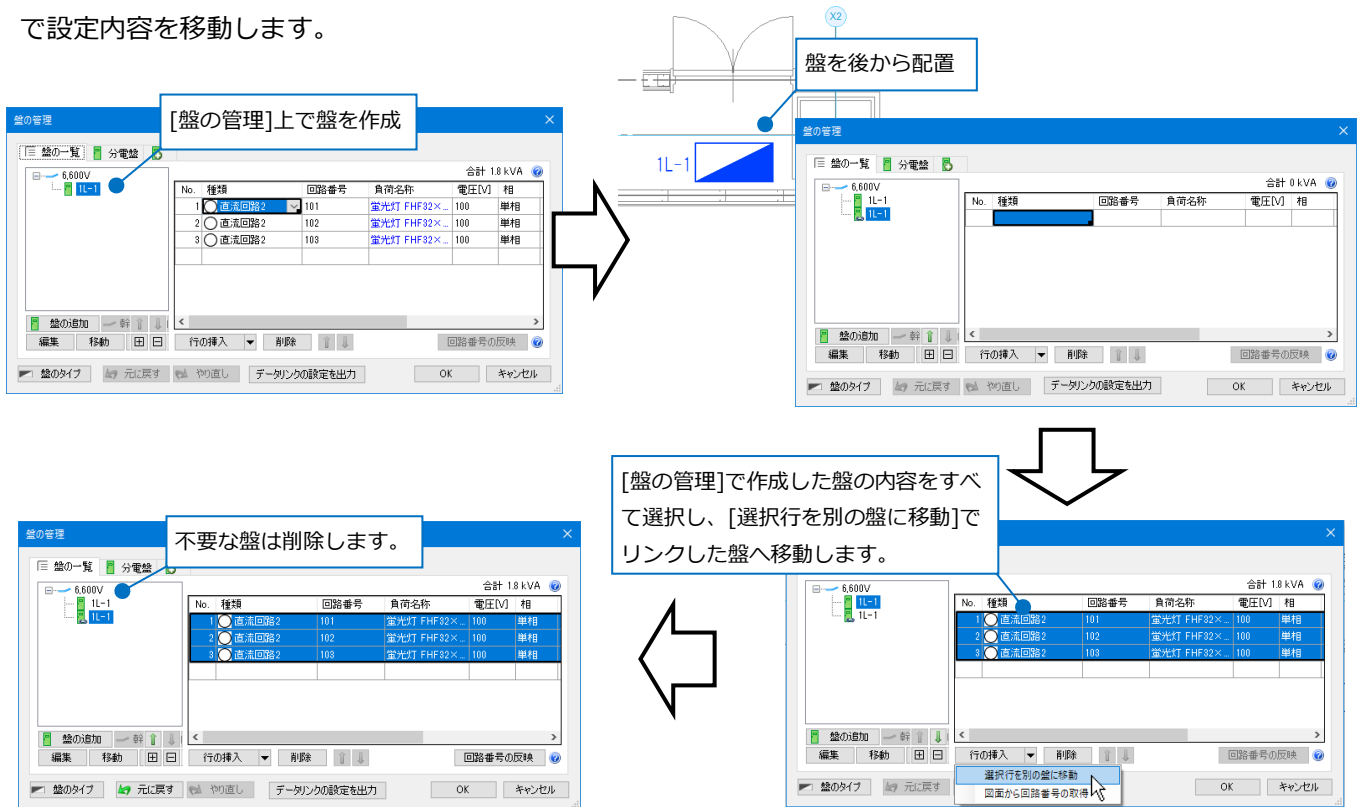


選択した回路が移動します。



● 補足説明

[盤の管理]を設定後に図面上に盤を配置すると、[盤の一覧]タブに同じ盤名称でリンクされた盤が追加されます。設定済みの内容をリンクされた盤に移行したい場合は、[行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]で設定内容を移動します。



2. 盤図の出力

盤図の出力は、[盤の管理]-[データリンクの設定を出力]または、[データリンク]コマンドで、盤の種類ごとに [盤の管理]の内容を盤図として図面に貼り付けすることができます。

配電盤

No.	回路番号	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考
1	K1-1	1φ 9W210/105V	三相	100	50	CVT22	3L-1	(2.65)	(2.55)	
2						CVT14	3L-1	2.55	2.55	
4	K1-2	1φ 9W210/105V	三相	100	50	CVT22	3P-1	(2.810)	(2.810)	
5						CVT14	3P-1	1.945	1.945	
6						CVT14	3P-2	(1.271)	(1.271)	
7						CVT14	3P-2	1.271	1.271	
9	K2-1	1φ 9W210/105V	三相	100	50	CVT22	4L-1	(5.589)	(5.589)	
10						CVT14	4L-1	2.584	2.584	
11						CVT22	4L-2	(3.005)	(3.005)	
12						CVT14	4L-2	3.005	3.005	
14	K2-2	1φ 9W210/105V	三相	100	50	CVT22	4P-1	(2.810)	(2.810)	
15						CVT14	4P-1	1.945	1.945	
16						CVT22	4P-2	(1.271)	(1.271)	
17						CVT14	4P-2	1.271	1.271	
19	K1-3	1φ 9W210/105V	三相	100	50	CVT22	3L-1	(3.005)	(3.005)	
20						CVT14	3L-1	3.005	3.005	

電灯分電盤

No.	回路番号	負荷名称	台数	電圧	VA	VA(節D)	kW	W(節D)	備考
1	FH1	蛍光灯 FHF32×2	12	100	408	34	0.498	34	
2	102	蛍光灯 FHF32							
3	103	蛍光灯 FHF32							
4	104	LED灯 タラン							
5	105	コンセント照明							
6	106	コンセント照明							

動力分電盤

No.	回路番号	負荷名称	P	AF	AT	電圧	kVA	kW	備考
1	PAC-201-1	パワージェアコン	単相			200	0.38	0.28	
2	PAC-201-2	パワージェアコン	単相			200	0.38	0.28	
3	PAC-201-3	パワージェアコン	単相			200	0.28	0.28	
4	HEX-201-1	全熱交換器	単相			100	0.145	0.145	
5	HEX-201-2	全熱交換器	単相			100	0.145	0.145	
6	HEX-201-3	全熱交換器	単相			100	0.145	0.145	
7	PAC-202-1	パワージェアコン	単相			200	0.38	0.28	
8	PAC-202-2	パワージェアコン	単相			200	0.38	0.28	
9	PAC-202-3	パワージェアコン	単相			200	0.38	0.28	

[盤の管理]から出力

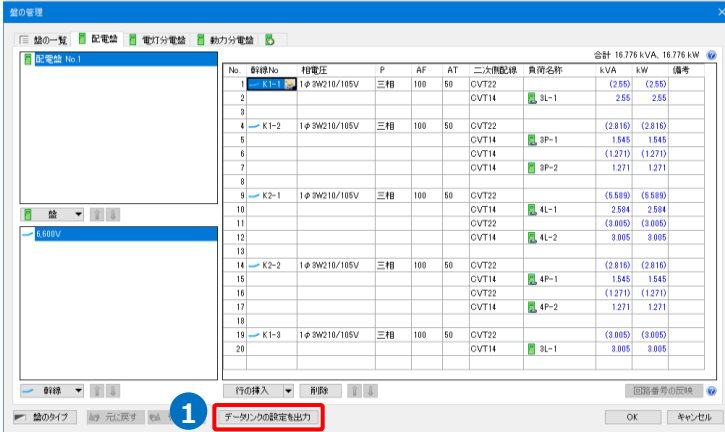
図面で設定した[盤の管理]の情報を、盤のタイプごとにExcel出力するためのデータリンクの設定を自動生成します。表として貼り付けることで、レブロの[盤の管理]とリンクします。

作成するファイルは、一つの盤のタイプごとになります。

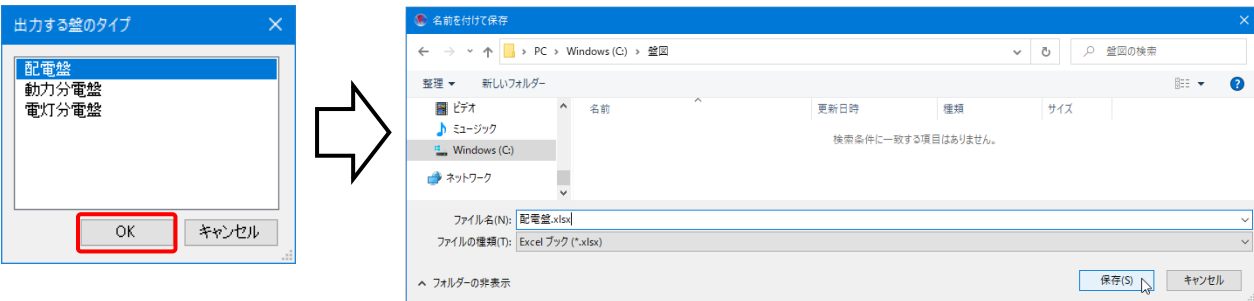
サンプル図面「サンプル事務所(盤図の出力).reb」を開きます。図面には、[盤の管理]に盤の情報が入力されています。

① [電気]タブ-[盤の管理]を選択します。

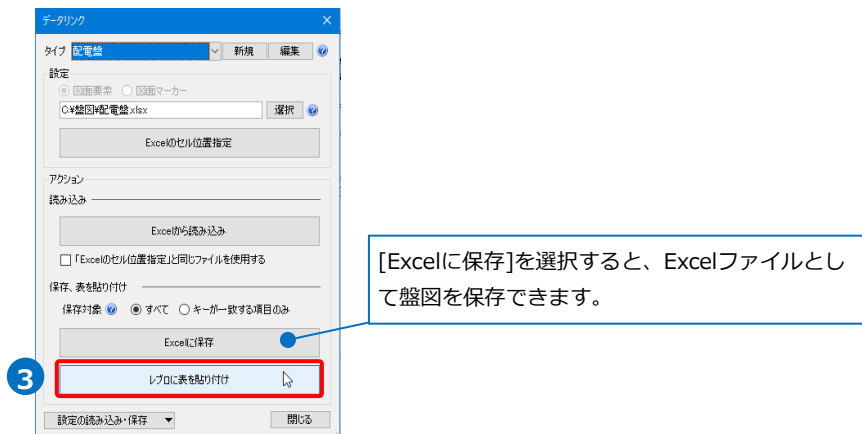
[盤の管理]ダイアログの[データリンクの設定を出力]をクリックします。



② [出力する盤のタイプ]ダイアログで盤のタイプを選択し、[OK]をクリックします。データリンクで使用する盤図のフォーマットが入ったExcelファイルが自動で作成されるため、保存先を選択して[保存]をクリックします。



③ 「データリンクの設定」が自動で作成され、[データリンク]ダイアログが開きます。[レブロに表を貼り付け]をクリックします。



4 レイアウトを「盤図(配電盤)」に切り替えます。



5 表を貼り付ける位置でクリックします。

Excel側の設定を基に、[盤の管理]の情報を出力した表を図面に貼り付けます。

盤名	線の相線番号	相線No	相電圧	P	AF	AT	二次巻配線	巻数	kVA	kW	容量		
配電盤 No.1	6.600V	K1-1	1.6.3W(10/105V)	三相	100	50	OUT22		2.55	2.55			
							OUT14	3L-1	2.55	2.55			
		K1-2	1.6.3W(10/105V)	三相	100	50	OUT22		2.815	2.815	1.545		
							OUT14	3P-1	1.545	1.545			
		K2-1	1.6.3W(10/105V)	三相	100	50	OUT22		3.589	3.589	2.584		
							OUT14	4L-1	3.005	3.005			
	K2-2	1.6.3W(10/105V)	三相	100	50	OUT22		2.815	2.815	1.545			
						OUT14	4P-1	1.271	1.271				
	K1-3	6.600V	K1-3	1.6.3W(10/105V)	三相	100	50	OUT22		3.005	3.005	3.005	
								OUT14	3L-1	3.005	3.005		
			K1-4	1.6.3W(10/105V)	三相	100	50	OUT22		3.005	3.005	3.005	
								OUT14	3L-1	3.005	3.005		
K1-5			1.6.3W(10/105V)	三相	100	50	OUT22		3.005	3.005	3.005		
							OUT14	3L-1	3.005	3.005			
K1-6	1.6.3W(10/105V)	三相	100	50	OUT22		3.005	3.005	3.005				
					OUT14	3L-1	3.005	3.005					

Memo

複数のシートが出力された場合、貼り付けたいシートを選択することができます。

配置後は、表のプロパティで貼り付けたシートを他のシートに変更することができます。

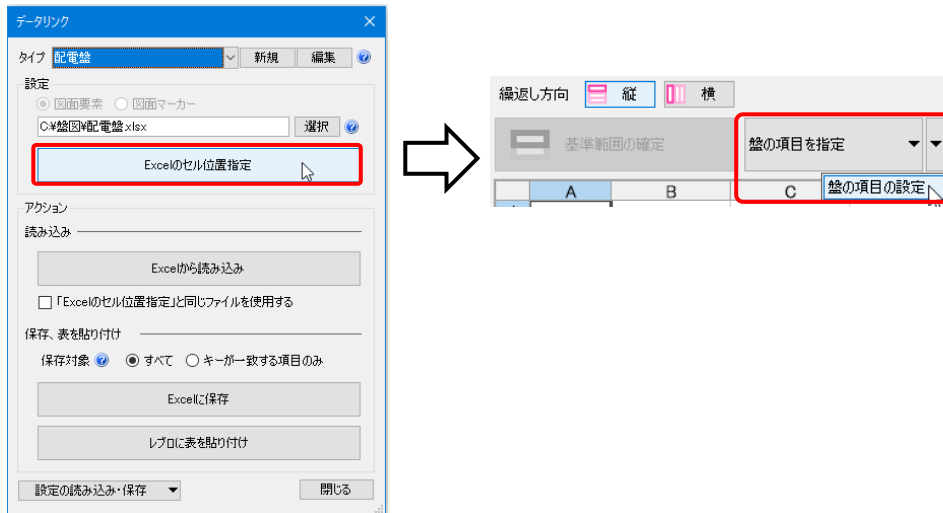
盤の分類とシートの選択ができます。

- 補足説明

[レブロに表を貼り付け]前に負荷容量の合計の設定をすると、合計値を出力することができます。

[データリンク]ダイアログで[Excelのセル位置指定]を選択します。

「盤の項目を指定」を選択し、「盤の項目を指定」横の[▼]-[盤の項目の設定]を選択します。



[盤の項目の設定]ダイアログで[負荷容量の合計]にチェックを入れ[OK]をクリックします。



[レブロに表を貼り付け]より図面に貼り付けます。

盤名称	親の幹線番号	幹線No	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	集約電流	kVA	kW	備考	
配電盤 No.1	6.600V	K1-1	1.5-3N/10/100V	三相	100	S0	CVT22	2.55	2.55			
							CVT14	3L-1	2.55	2.55	2.55	
		K1-2	1.5-3N/10/100V	三相	100	S0	CVT22	2.816	2.816			
							CVT14	3P-1	1.545	1.545	1.545	
							CVT14	3P-2	1.271	1.271	1.271	
	K2-1	1.5-3N/10/100V	三相	100	S0	CVT22	5.589	5.589				
						CVT14	4L-1	2.584	3.005	3.005		
						CVT14	4L-2	3.005	3.005			
	K2-2	1.5-3N/10/100V	三相	100	S0	CVT22	2.816	2.816				
						CVT14	4P-1	1.545	1.271	1.271		
						CVT14	4P-2	1.271	1.271			
	K1-3	1.5-3N/10/100V	三相	100	S0	CVT22	3.005	3.005				
						CVT14	3L-1	3.005		3.005		
						合計		16.776	16.776			

[データリンク]から出力

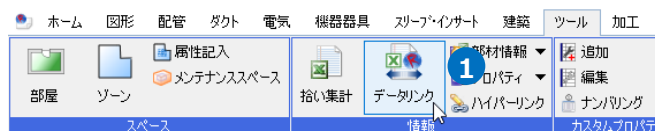
盤図のフォーマットをExcelで用意し、図面で設定した[盤の管理]の情報を図面上の「表」として貼り付けます。表として貼り付けることで、レボロの[盤の管理]とリンクします。

サンプル図面「サンプル事務所(盤図の出力).reb」を開きます。図面には、[盤の管理]に盤の情報が入力されています。

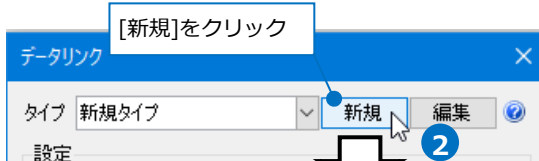
レボロ要素とExcelファイルの関連付けの設定

キーの設定

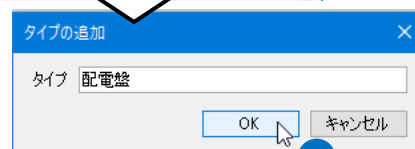
- 1 [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。



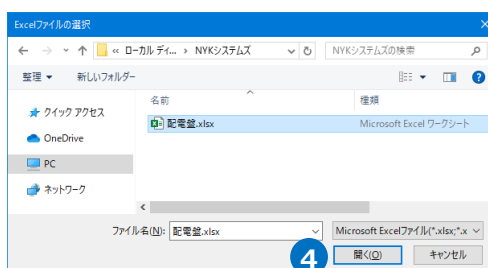
- 2 [データリンク]ダイアログが開きます。タイプの[新規]をクリックします。



- 3 [タイプの追加]ダイアログが開きます。タイプ名を入力し、[OK]をクリックします。

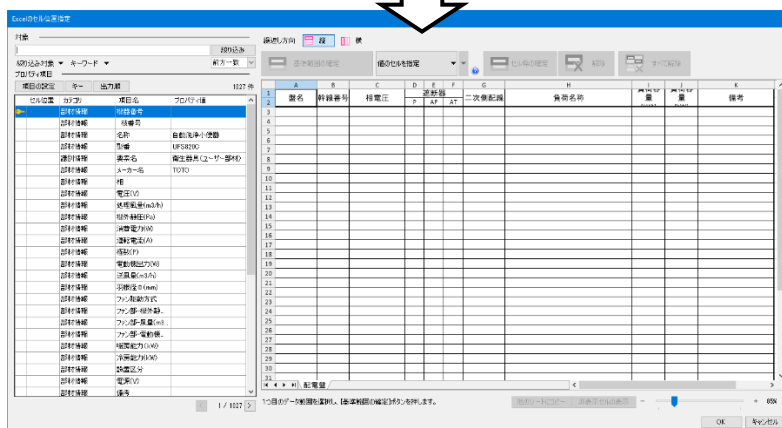
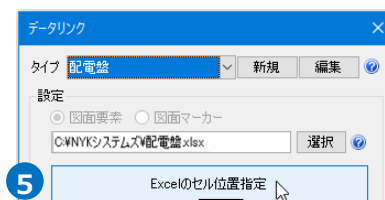


- 4 [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。データを読み込むExcelファイル「配電盤.xlsx」を選択し、[開く]をクリックします。



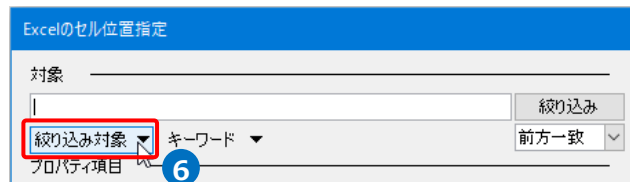
- 5 [Excelのセル位置指定]をクリックします。

[Excelのセル位置指定]ダイアログが開き、選択したExcelファイルの内容が表示されます。

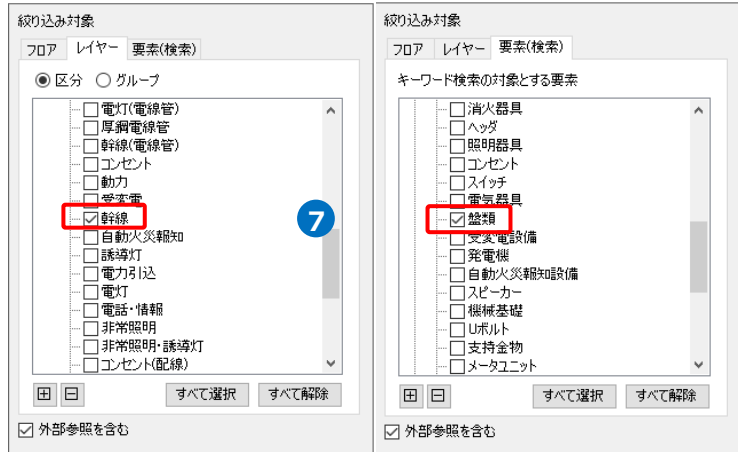


6 表として値を出力する対象要素を盤に絞り込みます。

[絞り込み対象]をクリックします。



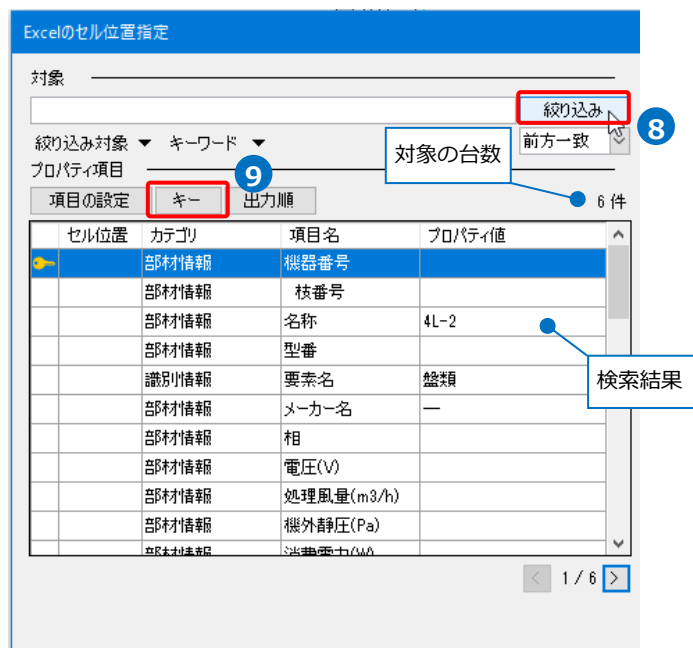
7 [絞り込み対象]ダイアログから、[レイヤー]タブの[電気]-[幹線]、[要素(検索)]タブの[機器・器具]-[盤類]にチェックを入れます。



8 [絞り込み]をクリックします。

部材検索が実行され、絞り込み対象と合致した部材が検索結果に表示されます。リストに表示された部材がデータリンクの対象となります。

Memo
[盤の管理]で追加した仮想の盤のみの図面では、台数は「0台」となります。



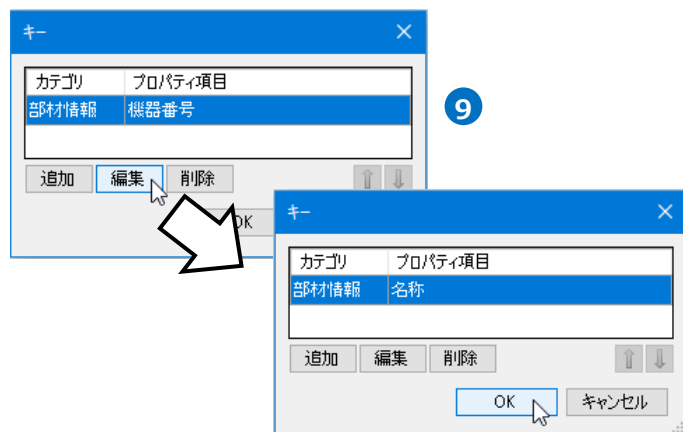
9 [キー]をクリックし、[キー]ダイアログでレプロの分電盤の情報とExcelファイルを紐づけるプロパティ項目を選択します。

[カテゴリ] : 部材情報

[プロパティ項目] : 名称

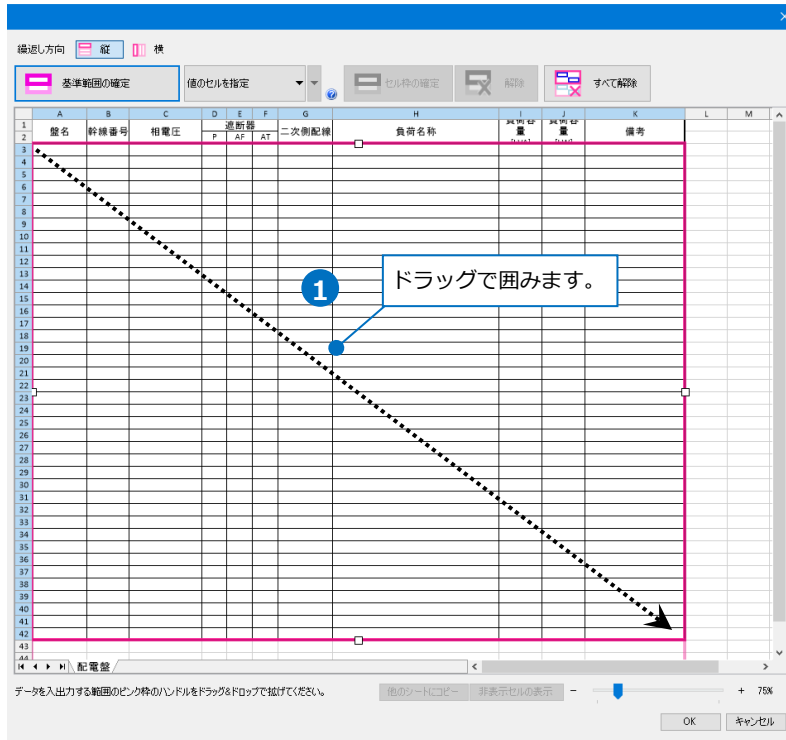
※盤名称と紐づけるため、必ず[部材情報]-[名称]を指定します。

Memo
キーに設定したプロパティ項目は、[プロパティ項目]の左端の列に🔑が表示されます。

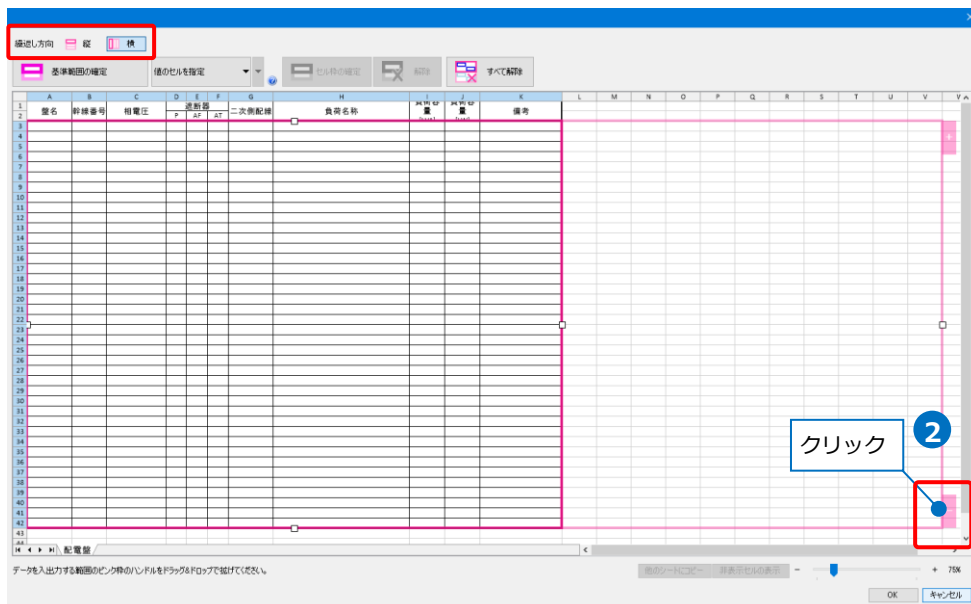


読み込む範囲の設定

- 1 Excel欄で1つ目の盤のデータに該当する範囲を選択し、[基準範囲の確定]をクリックします。
基準となる範囲(濃いピンク色の枠)が確定します。



- 2 1シート分に出力したいデータの繰り返し範囲(薄いピンク色の枠)をハンドルで指定します。繰り返し方向は、[縦]と[横]が選択できます。
ここでは、1シートに1データのみとするため、基準となる範囲枠にある「-」で繰り返し範囲を削除します。



Memo

連続していない位置に表の続きがある場合は、「+」をクリックすると、離れた位置に範囲を指定することができます。

- 補足説明

[Excelのセル位置指定]で指定した基準となる範囲に、[盤の管理]で設定した盤1つ分の値が出力されます。そのため、盤1つ分の情報が入るようにExcelの行数を指定します。

盤のタイプごとに出力するため、同じタイプの盤の中で一番行数の多いものに合わせると、各盤の情報が1シート内に収まります。

※負荷容量の合計や余白を出力する際は、設定した行数分必要になります。(p.27参照)

「配電盤No.1」の情報は、20行分が必要です。

出力する項目を選択できます。出力する項目数分の列数が少なくとも必要です。

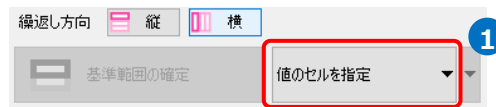
No.	登録No.	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考
1	K1-1	1φ 3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.55)	(2.55)	
2						CVT14	3L-1	2.55	2.55	
3										
4	K1-2	1φ 3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.816)	(2.816)	
5						CVT14	3P-1	1.545	1.545	
6						CVT14		(1.271)	(1.271)	
7						CVT14	3P-2	1.271	1.271	
8										
9	K2-1	1φ 3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(5.589)	(5.589)	
10						CVT14	4L-1	2.584	2.584	
11						CVT22		(3.005)	(3.005)	
12						CVT14	4L-2	3.005	3.005	
13										
14	K2-2	1φ 3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.816)	(2.816)	
15						CVT14	4P-1	1.545	1.545	
16						CVT22		(1.271)	(1.271)	
17						CVT14	4P-2	1.271	1.271	
18										
19	K1-3	1φ 3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(3.005)	(3.005)	
20						CVT14	3L-1	3.005	3.005	

盤1つ分の情報が基準範囲に入りきらなかった場合は、2つ目の範囲に続けて情報が出力されます。次の盤の情報は、3つ目の範囲から開始されます。

セルにプロパティ項目を割り当て

既存の項目を割り当て

- 1 盤名称を出力するセルを指定します。
セルの指定方法は、「値のセルを指定」を指定します。



- 2 [プロパティ項目]でレプロの要素と関連付ける項目の行をクリックし、[セル位置]列のスポイトアイコンをクリックします。

[カテゴリ]：部材情報

[プロパティ項目]：名称



- 3 盤名称を出力するセル(A3)をクリックします。

→基準範囲内の選択したセルが青色枠で囲われます。

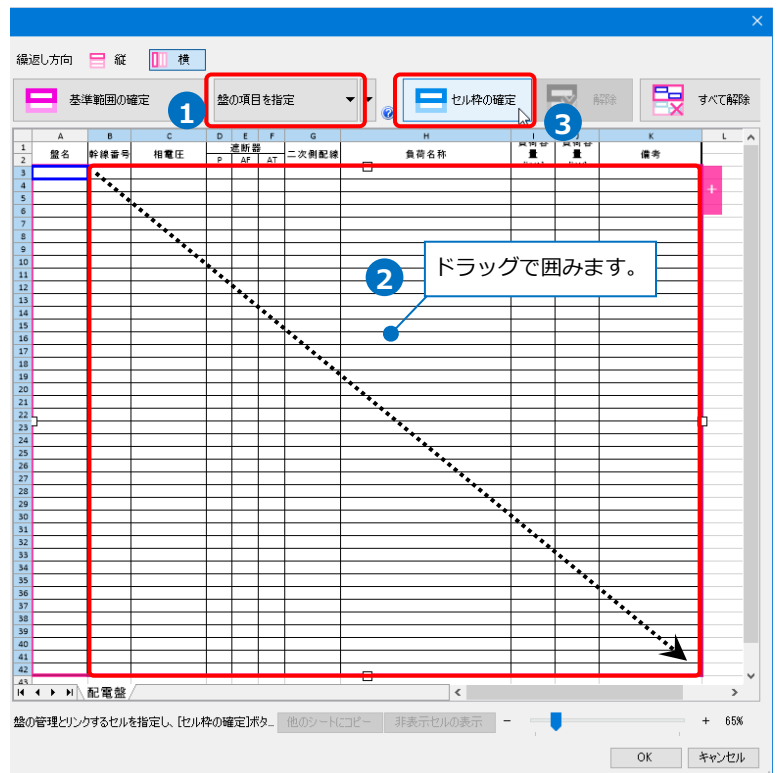
※繰り返し範囲を指定した場合は、相対位置が同じセルが水色枠で囲われます。

	A	B	C	D	E	F
1	盤名	幹線番号	相電圧	遮断器		
2				P	AF	AT
3						
4						
5						
6						

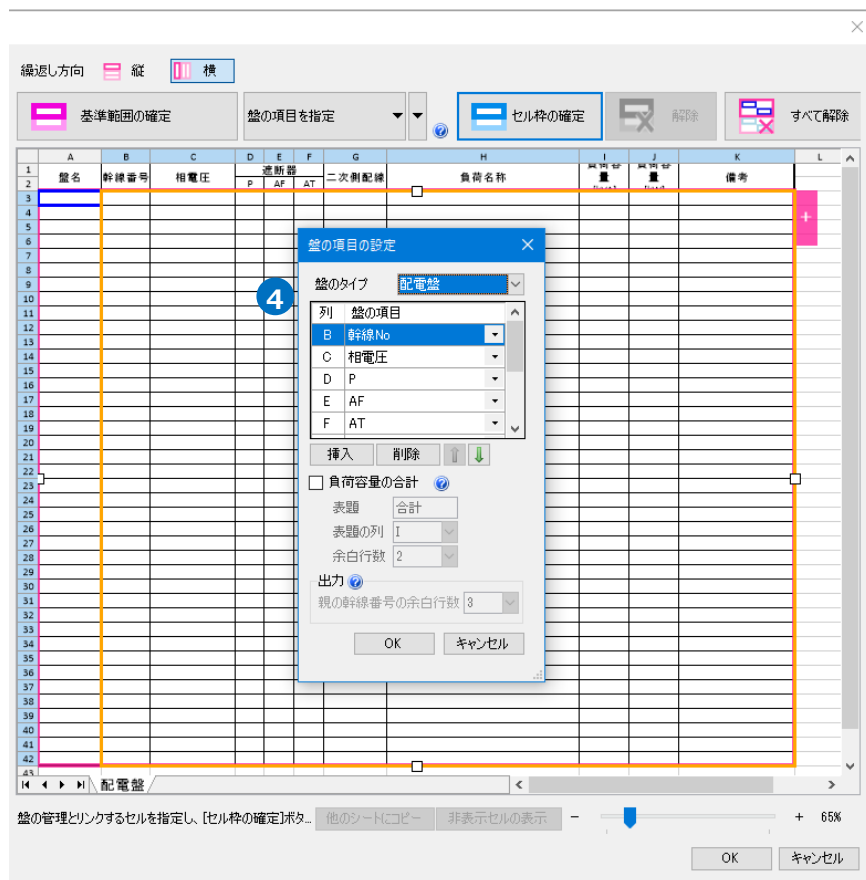
	A	B	C	D	E	F
1	盤名	幹線番号	相電圧	遮断器		
2				P	AF	AT
3						
4						
5						
6						

盤の項目を割り当て

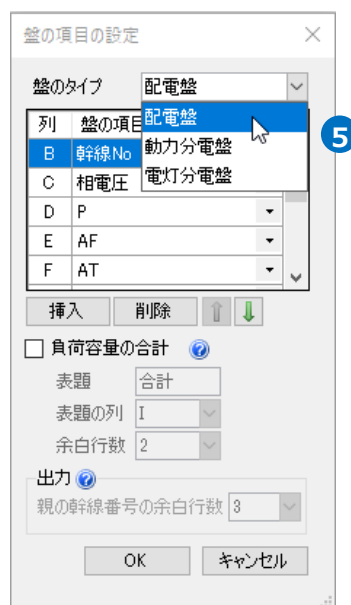
- 1 [盤の管理]の情報を入力します。
セルの指定方法は、「盤の項目を指定」を選択します。
- 2 情報を入力したい範囲(B3~K42)を選択します。
- 3 [セル枠の確定]をクリックします。



- 4 選択したセル枠が橙色で囲まれ、[盤の項目の設定]ダイアログが表示されます。
 ※繰り返し範囲を指定した場合は、相対位置が同じ範囲のセルが黄色枠で囲われます。



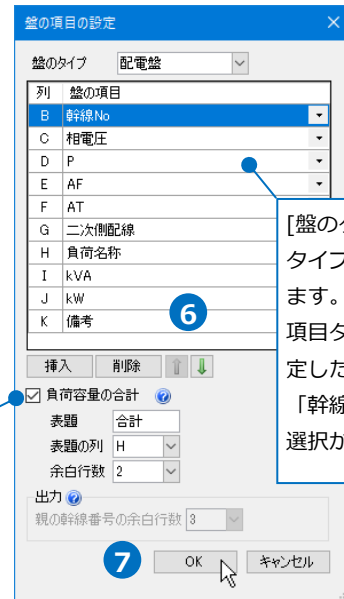
- 5 盤の項目を設定します。
 盤図として出力したい盤に割り当てられた[盤のタイプ]を選択します。([盤のタイプ]についてはp.4参照)
 ここでは、「配電盤」を選択します。



⑥ 列ごとにリンクする項目をプルダウンから選択します。

[負荷容量の合計]にチェックを入れると、盤に対する負荷容量の合計値を出力することができます。

⑦ 設定が完了したら[OK]をクリックして、[盤の項目の設定]ダイアログを閉じます。

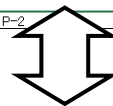


[盤のタイプ]で設定した項目タイプのタイトルから選択します。
項目タイプ「幹線番号」を設定した盤のタイプの場合は、「幹線番号」「負荷名称」の選択が必須です。

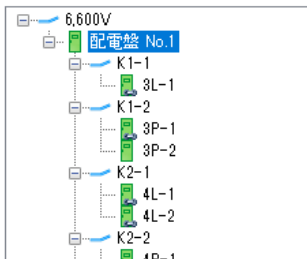
チェックを入れると、盤の負荷容量の合計値を出力します。(p.27参照)

AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考
			合計 16.776 kVA, 16.776 kW		
50	CVT22		(2.55)	(2.55)	
	CVT14	3L-1	2.55	2.55	
50	CVT22		(2.816)	(2.816)	
	CVT14	3P-1	1.545	1.545	
	CVT14		(1.271)	(1.271)	
	CVT14	3P-2	1.271	1.271	

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
盤名	幹線番号	相電圧	遮断器		二次側配線		負荷名称	負荷容量 [kVA]	負荷容量 [kW]	備考
			P	AF	AT					
配電盤 No.1	K1-1	1φ3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.55)	(2.55)	
						CVT14	3L-1	2.55	2.55	
	K1-2	1φ3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.816)	(2.816)	
						CVT14	3P-1	1.545	1.545	
						CVT14		(1.271)	(1.271)	
						CVT14	3P-2	1.271	1.271	

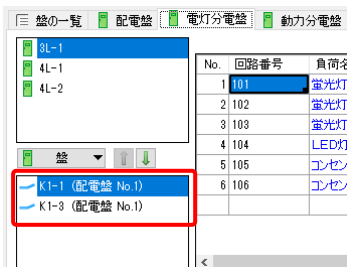


B列		C列		D列	E列	F列	G列	H列	I列	J列	K列
No.	幹線No	相電圧	P	AF	AT	二次側配線	負荷名称	kVA	kW	備考	
1	K1-1	1φ3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.55)	(2.55)		
2						CVT14	3L-1	2.55	2.55		
3											
4	K1-2	1φ3W210/105V	三相	100	50	CVT22		(2.816)	(2.816)		
5						CVT14	3P-1	1.545	1.545		
6						CVT14		(1.271)	(1.271)		
7						CVT14	3P-2	1.271	1.271		



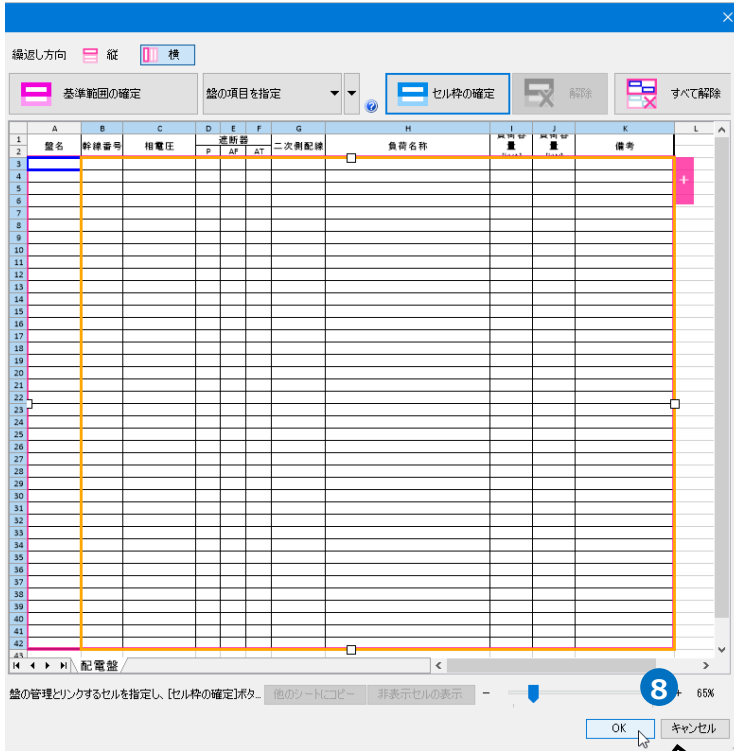
Memo

[盤のタイプ]で設定した項目タイプの他に「親の幹線番号」を選択することができます。盤名称ごと、親の幹線番号ごとに出力することができます。

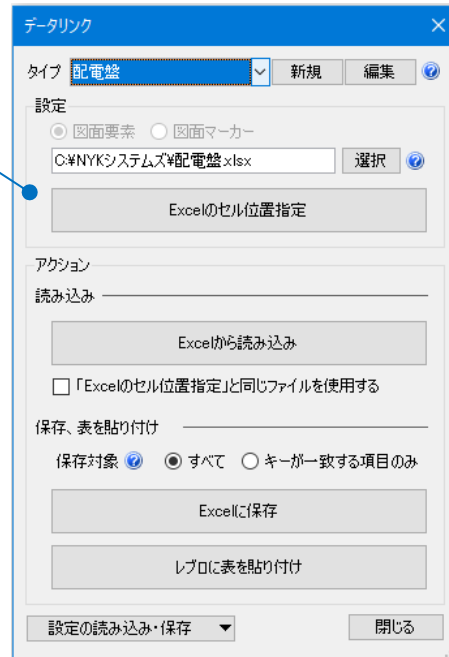


A	B	C	D	E	F
盤名	幹線番号	番号	電圧 [V]	開閉器	
3L-1	K1-1	101	100		蛍光灯 片
		102	100		蛍光灯 片
		103	100		蛍光灯 片
		104	100		LED灯 片
		105	100		コンセント
		106	100		コンセント
					合計
	K1-3	107	100		LED灯 片
		108	100		蛍光灯 片
		109	100		LED灯 片
		110	100		LED灯 片
		111	100		蛍光灯 片
		112	100		LED灯 片
		113	100		LED灯 片
		114	100		蛍光灯 片

8 セル枠をすべて設定後、[OK]をクリックします。



[データリンク]ダイアログに戻ります。

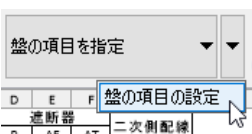


Memo

再度出力する対象の要素を絞り込む場合は、[Excelのセル位置指定]で「盤の項目を指定」のセルを[解除]します。



設定した内容を変更する場合は、「盤の項目を指定」横の[▼]から[盤の項目の設定]で変更することができます。



● 補足説明

負容量の合計と親の幹線番号の余白行数

[負容量の合計]にチェックを入れると、盤ごとの負容量の合計値を表に出力することができます。([盤の項目]で「親の幹線番号」を指定した時は、幹線番号ごとに出力することができます。)

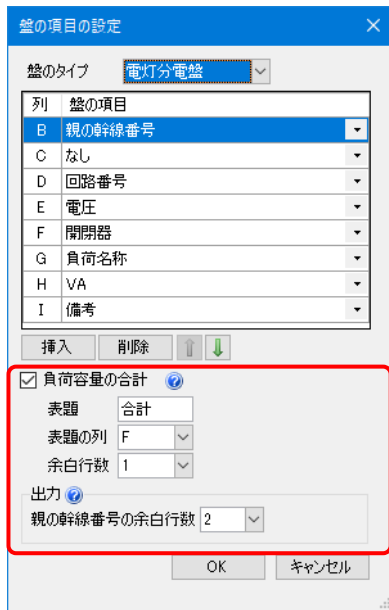
[表題]：合計値を出力する際のタイトルを設定することができます。

[表題の列]：[表題]で設定したタイトルを出力する列を指定します。

[余白行数]：1つ目の情報から指定した行数分の空白行を作って合計値を出力します。

[親の幹線番号の余白行数]は、[盤の項目の設定]で「親の幹線番号」を指定した時に設定します。

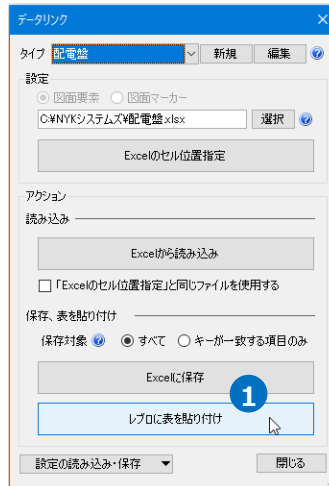
2つ目の幹線の情報を出力する際に、1つ目の情報の後に指定した余白行数分の空白行を作って出力します。



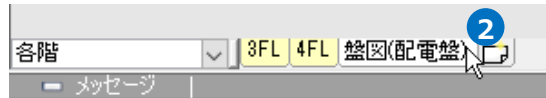
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
	盤名	幹線番号	番号	電圧 [V]	開閉器	負荷名称	負荷容量 [VA]	備考	
1									
2	3L-1	K1-1	101	100		蛍光灯 FHF32×2	408		
3			102	100		蛍光灯 FHF32×2	408		
			103	100			204		
			104	100			630		
			105	100			400		
7			106	100		コンセント壁付(3口)	500		
						合計		2550	負容量の合計
12		K1-3	107	100		LED灯 ダウンライト	272		
13			108	100		蛍光灯 H136×1(壁付)	74		
14			109	100		LED灯 ダウンライト	238		
15			110	100		LED灯 ダウンライト	204		
16			111	100		蛍光灯 H136×1(壁付)	37		
17			112	100		LED灯 ダウンライト	68		
18			113	100		LED灯 ダウンライト	102		
19			114	100		蛍光灯 FHF50×1(システム天井用、ボックス兼)	204		
20			115	100		LED灯 ダウンライト	68		
21			116	100		誘導灯 蛍光灯 FL20×1(非常用照明兼用)	30		
22			117	100		LED灯 ダウンライト	408		
23			118	100		コンセント壁付(2口)	500		
24			119	100			300		
			120	100			200		
			121	100			200		
			122	100			100		
27						合計		3005	負容量の合計

レプロに表を貼り付け

- 1 [データリンク]ダイアログの[レプロに表を貼り付け]をクリックします。



- 2 レイアウトを「盤図(配電盤)」に切り替えます。



- 3 表を貼り付ける位置でクリックします。

Excel側の設定を基に、[盤の管理]の情報を出力した表を図面に貼り付けます。

盤図(配電盤) 1/60 (平面)

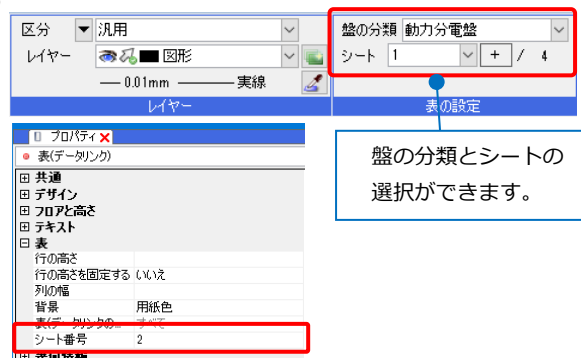
盤名	幹線番号	相電圧	遮断器			二次側配線	異物名称	異物容量 内訳	異物容量 合計	備考
			>	SE	AT					
配電盤 No.1	K1-1	1φ200V	3相	100	50	CVT2		(2.33)	(2.33)	
						CVT4	3φ-1	2.33	2.33	
K1-2	1φ200V	3相	100	50	CVT2		(0.84)	(0.84)		
						CVT4	3φ-1	1.54	1.54	
						CVT4	3φ-2	(1.27)	(1.27)	
K1-4	1φ200V	3相	100	50	CVT2		(5.58)	(5.58)		
						CVT4	4φ-1	2.54	2.54	
						CVT4	4φ-2	(3.02)	(3.02)	
K1-2	1φ200V	3相	100	50	CVT2		(0.84)	(0.84)		
						CVT4	3φ-1	1.54	1.54	
						CVT4	3φ-2	(1.27)	(1.27)	
K1-3	1φ200V	3相	100	50	CVT2		(3.02)	(3.02)		
						CVT4	3φ-1	3.02	3.02	
						合計	16.78	16.78		

図面に貼り付けた表は、[盤の管理]と連動します。
表の値を変更すると、[盤の管理]の値も変更されます。
(p.30参照)

Memo

複数のシートが出力された場合、貼り付けたいシートを選択することができます。

配置後は、表のプロパティで貼り付けたシートを他のシートに変更することができます。

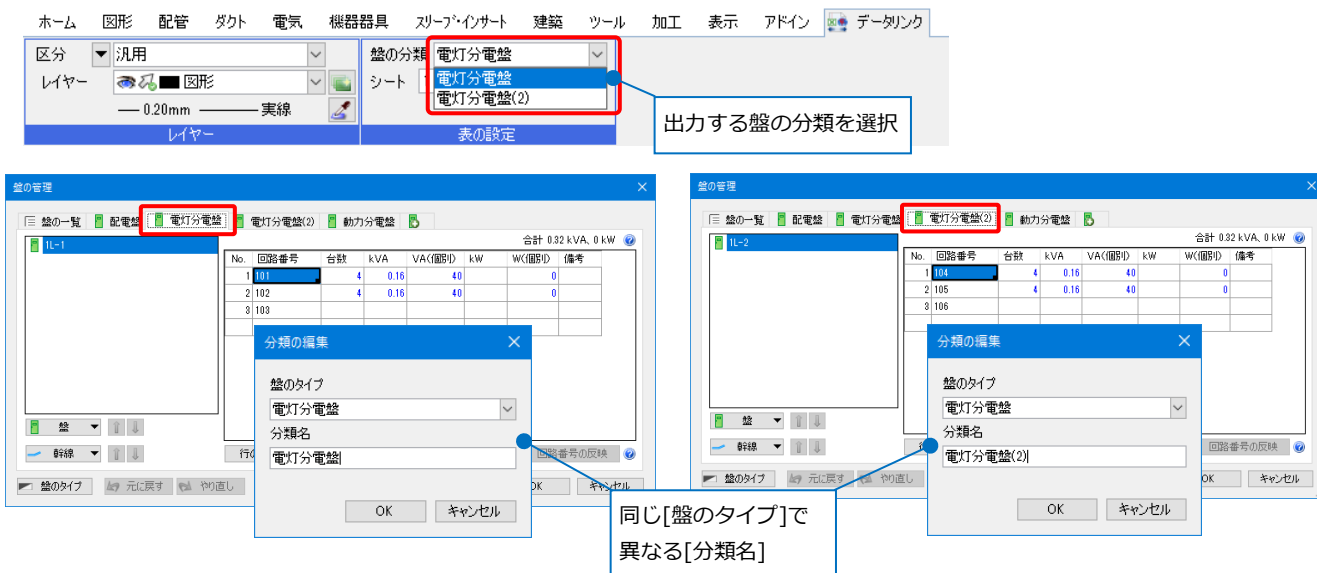


盤の分類とシートの
選択ができます。

- 補足説明

盤の分類ごとに表として出力します。[データリンク]で[Excelに保存]をすると、分類数分のExcelファイルを保存します。

同じ盤のタイプで複数の盤の分類がある場合、盤の分類を選択して、図面に表として貼り付けします。



※データリンクの詳細については、弊社ホームページの「サポート>テクニカルガイド」
「[データリンク\(概要編\)](#)」、「[データリンク\(操作編\)](#)」をご覧ください。

(参考)表の更新

[盤の管理]と[データリンク]で貼り付けた表はリンクします。

[盤の管理]で値が変われば、貼り付けた表の情報が変わり、表の[文字編集]を行うと[盤の管理]の項目の値が更新されます。

表の値を変更した時の[盤の管理]の値は、p.5「項目タイプ」の各タイプで手入力した時と基本的には同じです。そのため、手入力に対応していない「台数」や入力できる文字が制限されている項目(※)については、表の[文字編集]でも制限があります。

データリンクのキーとなる「盤名称」と「親の幹線番号」は表で編集することはできません。

表を編集した時の[盤の管理]の対応

項目タイプ	表の編集	制限事項や[盤の管理]で編集した時との違い
自由文字列	○	
幹線番号	○	変更前の幹線番号は、[盤の一覧]タブのツリー上で一番親の幹線番号と同階層に移動します。
回路の種類	○※	図面の[回路の種類]と同じ名称のみ入力できます。
回路番号	○	図面上の要素も変更されます。
回路番号(添字)	○	図面上の要素も変更されます。
機器番号	○	[盤の管理]ダイアログ上のみ変更します。 (図面上に配置した器具には反映しません。)
負荷名称	○	[盤のタイプ]で項目タイプ「幹線番号」を設定した盤については、変更前の名称の盤は、ツリー上で一番親の幹線番号の下に移動します。
型番	○	[盤の管理]ダイアログ上のみ変更します。 (図面上に配置した器具には反映しません。)
電圧[V]	○※	数値のみ入力できます。
相	○※	「単相」か「三相」のみ入力できます。
負荷容量(合計)	○	[盤の管理]ダイアログ上の表示用の負荷容量に上書きされます。
負荷容量(個別)	○	図面上に配置した器具も変更されます。
台数	×	
親の幹線番号	×	

[盤の管理]で表に出力する盤の増減があった場合は、貼り付けた表のコンテキストメニューから[表(データリンク)の更新]をします。

